

石川県

「加賀温泉郷マラソン 2019」 救護活動



平成 31 年 4 月 21 日（日）、春風薫る晴天の中、今年で 5 回目となる加賀温泉郷マラソンが開催されました。このマラソンは、加賀市陸上競技場をスタートし、片山津温泉、山中温泉、山代温泉など、起伏の激しいコースを走るフルマラソンと、10 km・5 km と短いコースを走るショートマラソンの 3 種類があります。今年には元マラソン選手の増田明美さんやゲストランナーの野尻あずささんが大会に花を添える中、4,978 名の選手が参加し加賀温泉郷を力一杯駆け抜けました。



この大会に（公社）石川県柔道整復師会 22 名の会員が出場選手の救護として参加し、コースの 25 km 地点、30 km 地点、35 km 地点、36 km 地点、38 km 地点とゴール本部にて、医師、看護師、保健師、救命救急士の方々と共に救護活動を行いました。



各救護所では、関節捻挫や筋痙攣、低体温症や嘔吐等様々な症状の選手が来場しましたが、救護担当者がそれぞれ協力しあひ的確な対応を行いました。

また、各担当者がコミュニケーションを密にし、役割分担が明確にしたことで、活動

を通して信頼関係の構築に繋がり、関係者の方々と和気あいあいの中ですべての救護活動を無事終えることが出来ました。

今回のように、これまでのゴール後のケア活動だけではなくコース途中で救護を行うこと、そして医師、看護師、保健師、救命救急士の方々と連携をとりあう中で、柔道整復師がその役割として活躍する場所があることを改めて感じ、今後の活動の新たな方向性を示すことが出来たと感じています。

